

入沢まゆこの選挙出馬をきっかけに
動き出した人たちがいます!



食べることは生きること
世界がどんなふうに変わっても
食べることは毎日の営みです。
その食を通して人と人との繋がり
小さな輪が広がって大きな輪になり
互いに助け合い共生できる社会になることが
私たちの目標です。



補欠選挙の際に選挙事務所として使われていた場所を何か有効活用できないかな?

まゆ子さんがずっと大切に続けてきたスリージェネレーションズのこども食堂の活動や母子支援の活動を途切れさせないように何か出来ないかな?そんな想いから、生まれたのがだれでもキッチンです。3月2日にオープンしました。

運営スタッフは選挙期間中、事務所スタッフへ食事を提供していたメンバーから、同じ思いを持つ数名が名乗りを上げてくれました。ワクワクした想いを持って仲間たちと新しいカタチの子ども食堂、地域食堂を目指して運営しています。

《ひとりぼっちを作らない》

まゆ子さんのスローガンは主婦だった私たちの胸にしっかりと刻まれています。

誰かが誰かのためにワンアクション起こせる手段として、つながるチケットを発行しました。

つながるチケットは、200円のチケットを購入することで、対象者の食事代の支援が出来ます。

対象者は18歳以下の子供たちと65歳以上の大人たち。どちらも私たちの未来です。オープンから約1ヶ月で70枚のチケットを販売しました。そしてその多くを、休校中の子供達が利用しています。



NEW OPEN!

だれでもキッチン

前橋市西片貝町4-14-9

Tel 090-9807-7216

会員様からの声を聞く!
市民が書くコラムのコーナー

つながるコラム Vol.1 神田なおえさんのVoice

友人である入沢まゆ子の、市議補選開票日。

正に一人一人の、1票+1票+1票…が一つの形になった日から、3ヶ月が過ぎた。あの選挙期間中の私たちサポーターは、一種の興奮状態だったと思う。

初めて会った人同士が、膝をつき合わせながら社会への問題提起を語り合い、黙々と印刷物を用意し、告示日には「こんなことする人いない」と驚かれた市民個人によるポスター貼り。そして、選挙期間中のみんなの健康を支えたキッチン隊の温かいご飯。



投票する事以外で、選挙に関わったのは初めてだった。

選挙のルールも分からない。やって良い事、ダメな事。

やりたい事、やりたくない事。できる事、出来ない事。

色々なことがありつつも、「つながる前橋」というスローガンの下にみんなが一つのチームになっていった1週間だった。

そして今、私たちは「コロナウイルス」という初めての体験を前に

同じような体験をしているのではないだろうか?

何がベストかなんて分からない。走りながら考える。

そんな時に大切なのは、「どこに向かって走っているのか」を見失わないことだと思う。

スタート地点、途中にあるいくつかのポイント、ゴール地点、ゴールした後の人生。

どんな社会にしたいか、どんな社会で生きてていきたいか。

そして私自身は、どんな風に生きてていきたいか。

今、それをしっかり握り直すチャンスのような気がしている。



記：神田なおえ

<https://www.naoekanda.com>

